

コロナに負けるな! くらしといのちを守る公務職場

県本部統一要求で理事者とも一致点を確認

【県本部】県市長会・町村会へ「職場・住民サービス向上のための要請書」を提出

5/29(金)県本部は県町村会・県市長会へ『健康で働き続けられる自治体職場と住民サービス向上めざす要請書』を提出し、新型コロナ対策を中心に要請しました。

県町村会は事務局長ら3人が対応。「県下の町職員はほとんど公共交通機関を使っておらず、通勤による感染リスクを抑える目的での早出遅出など時差出勤は行っていない」「7月3日県町村会の会議を予定、組合から要請があったことは伝える」とコメント。県市長会は事務局長が対応。「要請書の内容は各市長に伝える」と表明があり、「県市長会の会議開催は10月6日で検討」「定額給付金業務の対応は各自治体で大変だと思う」「首長も新型コロナ感染防止対策ではリスク管理として気を使っている」など、懇談しました。



6月8～10日、県本部は統一要求を全県単組で提出し要請しました。

【A市】経済対策で地元飲食店で使える「クーポン」に取り組んでいる。

【B市】コロナによる失業などの緊急雇用対策を行い、会計年度職員で10人程度募集。

【C市】経験者枠の年齢上限を引き上げた。《組合》コロナ関係業務に従事する職員の疲労が目に見えてわかる。応援を出す課の人員が減り結局どちらも大変な状況。対応できる人員配置を。

【D市】感染防止対策として時差出勤を導入。食堂の席数を半分にし、休憩時間を11～14時にまで広げ分散して取得している。

【E市】会計年度職員については負担が増え人数も多く、会計年度職員に業務が支えられていると実感した。

【F社協】時間外勤務はコロナの影響で夕方以降の会議が減り減少している。求人応募が少なく人材不足が深刻。

【G保育】職場でマスクを確保し職員に配布。緊急事態宣言で園の行事も中止や規模縮小で行った。

【H市】感染対策・定額給付金など職員の力が必要。職員に過重かかるのが不安。定額給付金対応の会計年度職員を募集したところ応募がありコロナの影響を感じた。

【I市】メンタルケアについては保健所や給付金業務窓口を主に対応。新採職員への研修は接遇研修のみ実施、新採同期がコミュニケーションを取る機会が

【J清掃】市民に不可欠なサービスとして運営するため職員とも相談を進めている。

【K病院】感染対応は、管理部門に対応できている。

【L市】こども館を20代～30代の少ない世代も中途採用で補充、保育・土木も採用強めている。

【M市】コロナ対策の衛生用品など第2波に対応できるよう備蓄したい。地域経済回復へのシフトは気にかけている。

【N社協】コロナ関係で「特別手当」支給を検討。

【O市】避難所運営に関わる職員の防護服支給など予算を組んで対応する。

【P市】ICカードによる時間管理を5月から始めた。

新型コロナ対策で安心して働ける職場体制を 人材確保、健康維持、会計年度職員など要請



第521号

発行所
自治労連愛媛県本部
愛媛県松山市10-10-3
電話 089951-7814
FAX 089951-1849
jphlm@stage.ocn.ne.jp
発行人 高尾 洋平
編集人 丸尾 正

(本誌の印刷・発行は、
あかね堂印刷株式会社)

日 程

- 【6月】
 - 3 南予総支部代表者会議
 - 7 平和行進高知へ引き継ぎ
 - 8 統一要求提出(新居浜公共)
 - 9 統一要求提出(中予・内子大洲)
 - 10 統一要求提出(東予・西予宇和島)
 - 西条市職労執行委員会
 - 久万高原町職労執行委員会
 - 今治水道労組執行委員会
 - 20 県本部拡大執行委員会
 - 県本部現業評幹事会
 - 27 県本部青年部幹事会
- 【7月】
 - 9 自治労連全国代表者会議(静岡伊東～10)
 - 18 県本部第79回定期大会・(共済会館)
 - 県本部自治研推進委員会
 - 19 原水禁四国大会(徳島)
 - 29 全労連第30回定期大会(千葉～31)



5月24日、香川県から引き続き、国民平和行進の愛媛コースが始まりました。今年の行進は『新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、人がたくさん集まる集会や歩行行進は実施しない』としましたが、各自治体へ

『短時間・少人数での要請、自治体、とくに宣伝力』で市中宣伝を行いまし

た。24日は愛媛・香川県境に10人が集結、愛媛コースの今井実行委員長がいきさつし、「核兵器などに財源を使わず、いのちとくらしを守ることに使

程で行われました。

《平和行進》 平和行進愛媛コース実施。武器より「いのちとくらしを守る」ために財源を



「学校休校で生活が苦しい…」
「会計年度職員から労働相談」

5月16日、「コロナ問題緊急労働相談」で愛媛労連・労働相談センターへ県内自治体の学校支援員(会計年度任用職員)から「新型コロナウイルスによる小学校の臨時休業に伴い、出勤できず休業補償もされておらず生活が苦しい」との相談が

あり、県自治体一般労組で対応を引き継ぎました。単組役員2人で労働相談のあった会計年度任用職員のもとへ出向き、相談者と職場の同僚から状況を聞き取り、今後の対応を協議しました。役員が総務省通知を示しながら「学校が休校でも、そこで働く職員の仕事の確保をし、賃金を確保するとされている。また使用者からの休業指示の場合は『特別休暇』や『休業手当』を支給し、収入が減らないようにする必要があります」と、県内自治体

での「新型コロナウイルス対応」の状況を伝えると、相談者から「これまでも夏休みなどで登校しない日は『仕事は休み』で、今回のことも当たり前に受け入れていたが、生活も厳しく納得できないので相談した」「学校からも休校に伴う職員の対応に関する通達はなかった」などの話があり、役員から「1人から加入できる自治体一般労組があるので一緒に頑張りましょう」と伝え、引き続き県自治体一般労組で対応することとしました。

【自治体一般】
「学校休校で生活が苦しい…」
「会計年度職員から労働相談」

5月16日、「コロナ問題緊急労働相談」で愛媛労連・労働相談センターへ県内自治体の学校支援員(会計年度任用職員)から「新型コロナウイルスによる小学校の臨時休業に伴い、出勤できず休業補償もされておらず生活が苦しい」との相談が

あり、県自治体一般労組で対応を引き継ぎました。単組役員2人で労働相談のあった会計年度任用職員のもとへ出向き、相談者と職場の同僚から状況を聞き取り、今後の対応を協議しました。役員が総務省通知を示しながら「学校が休校でも、そこで働く職員の仕事の確保をし、賃金を確保するとされている。また使用者からの休業指示の場合は『特別休暇』や『休業手当』を支給し、収入が減らないようにする必要があります」と、県内自治体

での「新型コロナウイルス対応」の状況を伝えると、相談者から「これまでも夏休みなどで登校しない日は『仕事は休み』で、今回のことも当たり前に受け入れていたが、生活も厳しく納得できないので相談した」「学校からも休校に伴う職員の対応に関する通達はなかった」などの話があり、役員から「1人から加入できる自治体一般労組があるので一緒に頑張りましょう」と伝え、引き続き県自治体一般労組で対応することとしました。

【宇和島病院】 定期大会について協議 「地域振興」にも取り組む



宇和島病院労組は5月25日、執行委員会を開催し8人が参加。6月開催予定の定期大会について協議。組合結成10年目の記念大会は、予定の記念行事をとりやめ、書面決議による大会へと変更。書面決議の方法や投票期日ほか大会議案書の配布方法などについても確認。

記念行事の中止に関わって「何か記念品を配布しては」との提案に「コロナで地域の商店も大変な状況になっているので、地域の消費に回る『振興券』か『クーポン券』を組合で購入し組合員へ配布してはどうか」と意見があり、役員からは「それいいね！」と賛同意見が多く、活用できる制度を調べた上で、次回会議で実施を検討することとしました。

【今治】『組合へのプレゼント』企画で 「組合あると心強い」とエール



今治市職では毎年、新年のスタートに『お年玉抽選付きピラ』を組合員に配布しています。今年は「組合員も参加できる楽しい企画にしてみよう」と執行部から意見があり、「組合へのエール・組合に入ってよかったこと・組合に入った理由・組合してほしいこと(活性化

【伊予】夏季要求で感染防止の分散勤務 有給取得の促進など内容を協議



伊予市職労は5月20日四役会を開催し10人が参加。夏季要求について職場課題項目ごとの協議を行いました。コロナ感染防止対策では「職員をグループごとに分けての分散勤務が必要なのではないか？」との提案に「分散勤務は場所を分けたサテライト型の方が現実的

【西条】大会、夏季要求、加入など 執行委員会で思い語り



西条市職労は5月13日、執行委員会を12人の参加で開催。7月開催予定の単組定期大会について協議した結果「コロナ感染防止に努め、予定通り開催に向けて準備」を確認。新採職員は23人の加入が報告され、青年部から「例年なら青年部イベント

【久万高原】医療職場状況を報告。大会、 地域支援、新採加入など相談



久万高原町職は5月13日、執行委員会を開催し6人が参加。新型コロナウイルスの職場状況と要求について議論し、「町職員が町内業者の弁当購入支援をはじめた」などの報告を始めた。また「マスク不足で介護施設では入浴介助時に限り1枚支給」となっており、組合から改善要求を出すことを検討。新採組

「休業で補償はないか」など 新型コロナでの相談相次ぐ



5月16日、愛媛労連は「コロナ問題緊急労働相談ホットライン」を開設し、県本部・高尾執行委員長ら相談員が対応し10件の相談が寄せられました。「相談事例1」県内自治体で学校特別支援員(会計年度任用職員)として勤務。感染拡大防止で学校が休業となってい

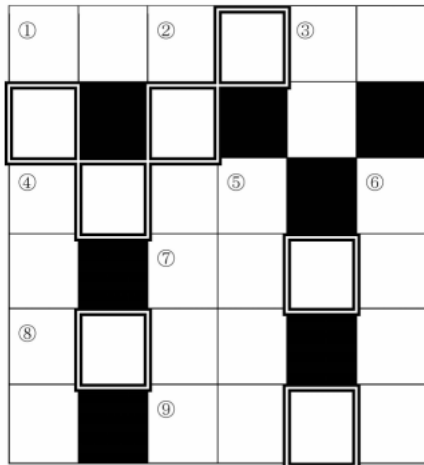
トへ誘いながら加入を勧めるが、今イベント開催が困難でもう一工夫が必要」と苦悩が出されました。夏季要求では「会計年度任用職員」や「感染防止対策」を追加し6月10日提出予定を確認。最後に山内委員長から「参加の執行委員から一言発言してもらい執行委員会の活性化につなげたい」との要請に、執行委員から様々に語られました。

【ヨコのカギ】

- ①労働組合・政党などで、書記局長
- ④数をかぞえること。〇〇〇〇ダウン
- ⑦じりじり貧乏になる、だんだん悪い状況になること
- ⑧不要不急の行動は〇〇〇〇を
- ⑨〇〇〇〇人、〇〇〇〇空間、〇〇〇〇飛行士

【タテのカギ】

- ①学生が卒業して〇〇〇〇〇〇に
- ②マシンガン。セーラー服と〇〇〇〇〇〇
- ③余ったひまな時間
- ⑤相撲を取る手口。相撲のとり方
- ⑥久万高原町「〇〇〇〇の郷さんさん」



出題者 堀川孝行

■519号のパズルの答えは「カイケイネンド」(会計年度)でした。正解は6通でした。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。(敬称略)

- 矢野 佳代(西条)
- 小林 弘樹(津島吉田)
- 中島 三博(西条)
- 越智 紀幸(今治一般)
- 井上 裕也(西予)

【応募方法】パズルの解答、氏名、住所、単組名を忘れずに。また、余白に紙面の感想、職場や家庭での出来事などをお書きください。正解者のなかから5人の方に図書カードを進呈いたします。

【送り先】自治労連愛媛県本部パズル係 〒790-0003 松山市三番町8丁目10-2 (FAX、メールも可 1面題字下に記載)
【締切り】7月27日【発表】523号(8月号)

おたより ありがとう

■コロナ禍によって、あえて曖昧にしてきた人間の良い部分と悪い部分に分かりやすくなっている気がします。(今治・白石)

■家族にマスクを作ろうとして、ミシンを注文しているのですが、届くのが6月下旬頃になるそうなので、待ちくたびれてしまします。(今治一般・越智)

■一人の時間ももつと増えて欲しいと思つていましたが、いざ一人の時間がこんなに増えたらとつながりを欲してしまふ。不思議なものですね。(宇和島・青木)

■先月号では、それぞれの地域の感染防止対策にかかる勤務体制の見直し状況が分かりました。職場ではこんな時だからこそ笑顔を忘れないようにしています。勤務先で人と接することが多いため、会話をしている際は笑顔心がけています。家では部屋

の掃除をしています。不要な物は捨てようと思ふのですが、なかなか物が捨てられず困つていました。ただ、昔の物が出てきたりして、過去をしみじみ思い出しながら行つていきます。(宇和島・河野)

■パズル解くのに、休日1日費やしました！(西予・竹本)
■今回のパズルは激ムズでした！貯めたパズルの景品4回分を子どもの名付け本を買いました！(西予・井上)